

落石崩壊・がけ崩れ調査

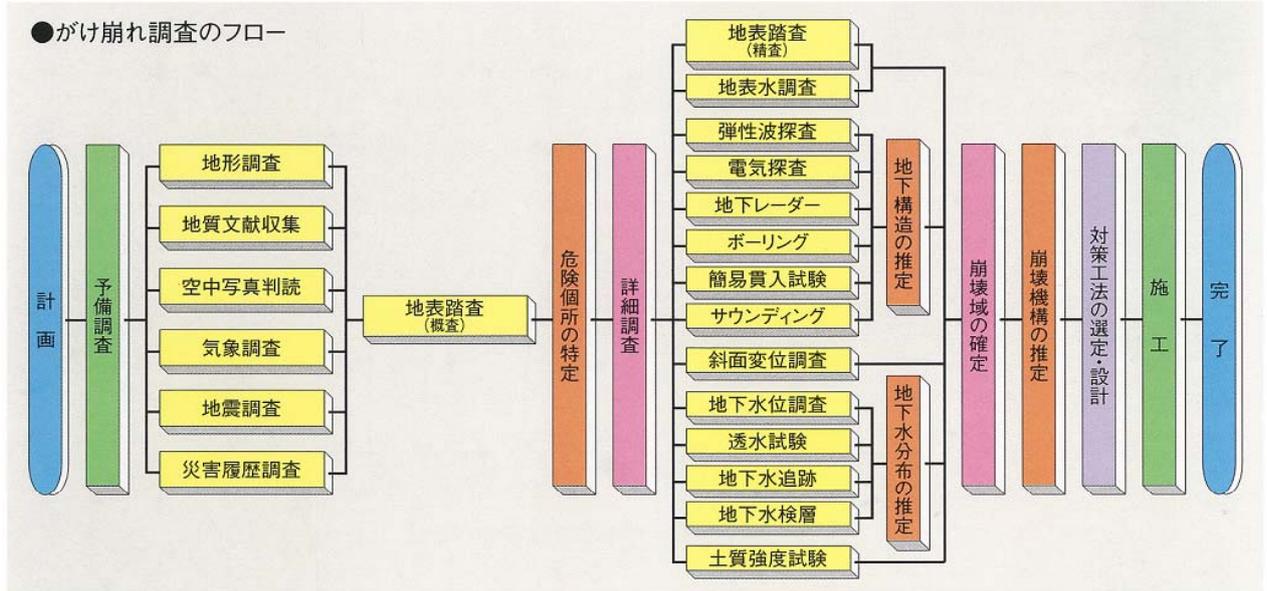
がけ崩れの調査と対策

全国には、20,00ヶ所以上の急傾斜地崩壊危険区域があります。急傾斜地崩壊危険区域は、傾斜30°以上、高さ5m以上の斜面のうち、民家5戸以上に被害をおよぼす斜面のことをいいます。さらに、福島県西郷村からまつ荘の災害（1998年8月）、横浜市南区の崩壊（1998年2月）などのように民家数が少なく、法指定を受けない危険な斜面が崩壊する例も数多くあります。日さくは、長年培ってきた豊富な経験とすぐれた技術力によって、崩壊斜面の安全確保に貢献しています。



上越市虫生岩戸地区

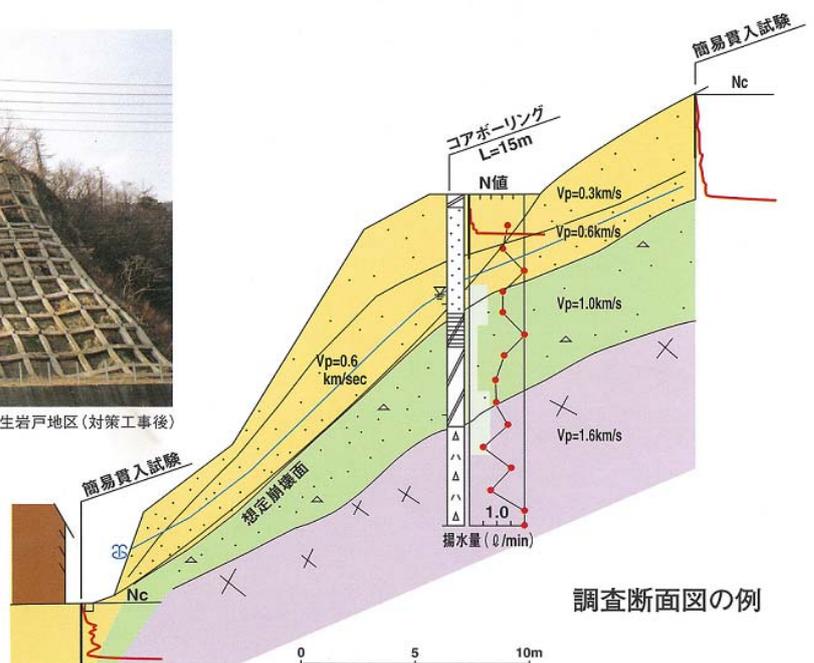
●がけ崩れ調査のフロー



新潟県上越市虫生岩戸地区(対策工事後)

主な対策工法

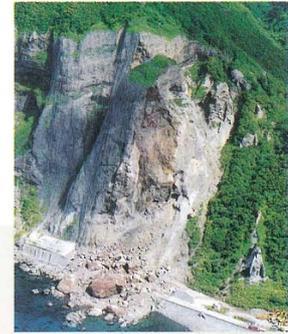
- ◎排水工
- ◎植生工
- ◎のり面保護工
- ◎排土工
- ◎アンカー工
- ◎杭工
- ◎擁壁工



調査断面図の例

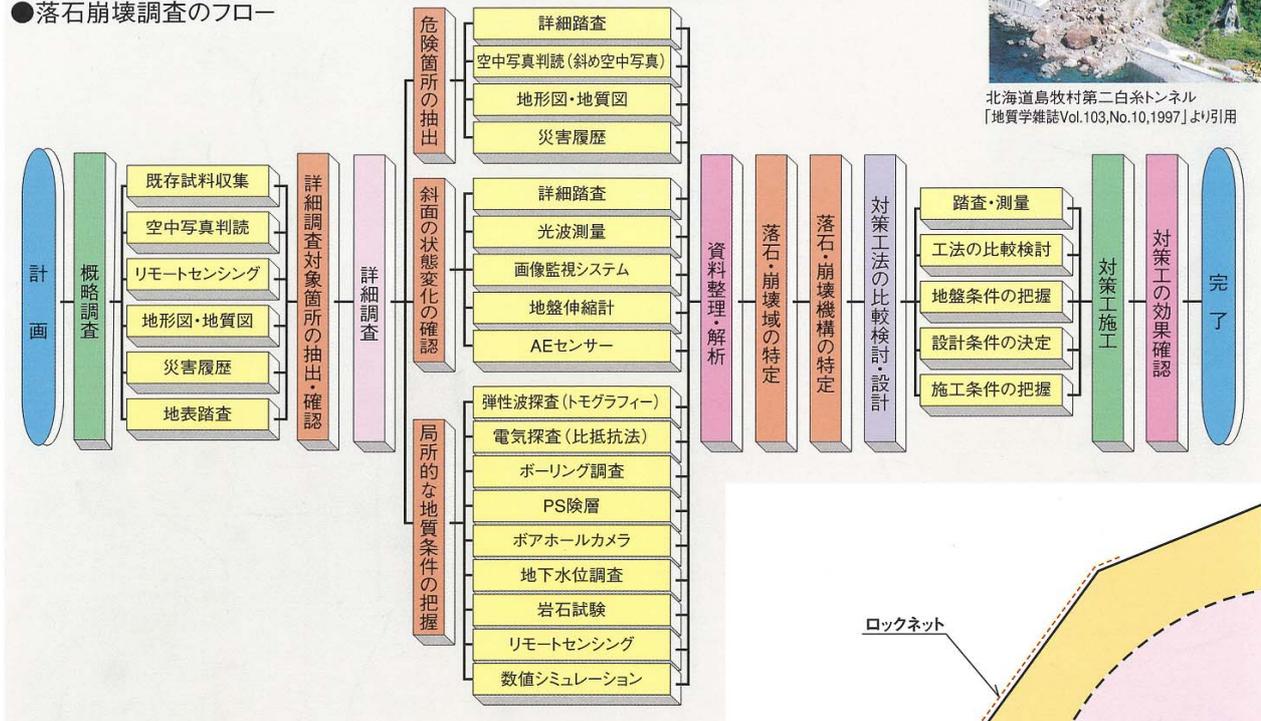
落石崩壊の調査と対策

北海道豊浜トンネルの事故以来、岩盤斜面の崩壊が大きくクローズアップされています。道路沿いの斜面だけでも1900ヶ所以上の危険な斜面があることが、建設省の調査で明らかにされています。このほか民家の裏側に危険な岩盤斜面がある場所も時おり見かけます。このような危険な斜面の岩盤崩壊から道路や民家などを守るため、大規模な調査・工事が各地で行われています。



北海道島牧村第二白糸トンネル
[地質学雑誌Vol.103, No.10, 1997]より引用

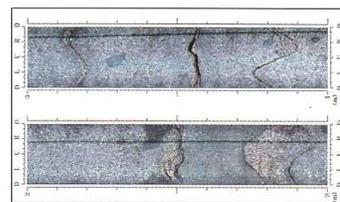
● 落石崩壊調査のフロー



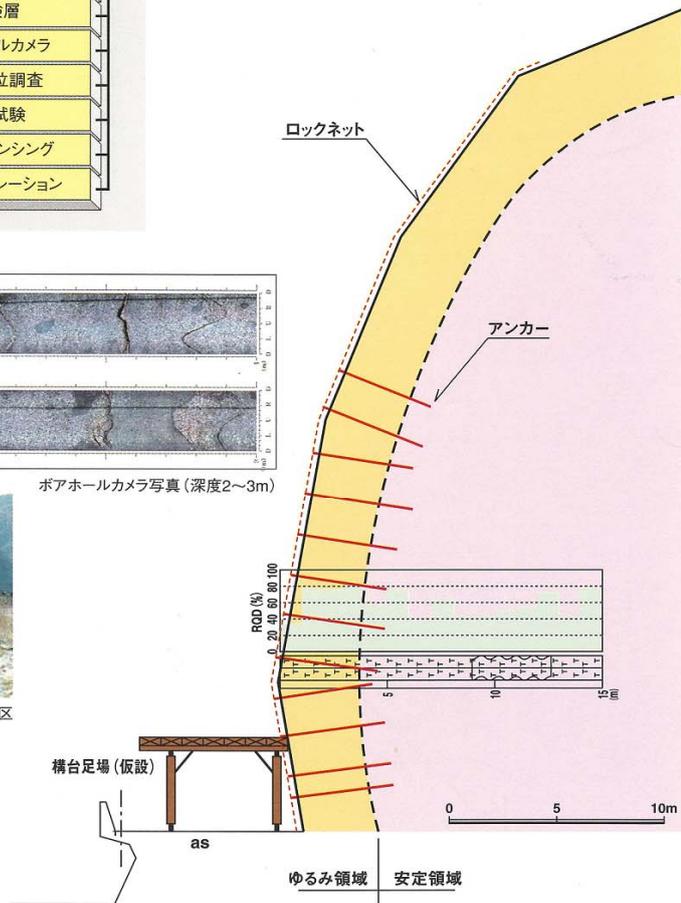
長野県上田市半過地区

主な対策工法

- ◎根固工
- ◎ロックネット
- ◎ロックアンカー
- ◎落石防止壁
- ◎表面被覆
- ◎落石防護棚
- ◎落石止擁壁 ほか



ポアホールカメラ写真(深度2~3m)



調査断面図および対策工断面図の例

このカタログの内容は、2017年10月1日現在のものです。